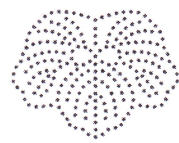


「リゅうま伝」は高野の分身がお客様のところへと挨拶に伺う。という気持ちでお届けいたします。



リゅうま伝

38号

2023年1月26日
高野 竜馬

「一日にピリオドを」

例年どおり年始に100個目標を立てた高野です。100個も書く理由は自分の中の思いもよらない欲求を見つかることです。80個を超えたあたりから時間がかかるのですが、そこからが面白いのです。

「俺、ってそんなこと考えてたんだ」ってことに気がつかやめます。

ちなみに昨年の最重要目標は12月31日、大晦日の夕日を感謝の気持ちで拝む」でした。

そう決意していたおかげか、例年になく大掃除が早目に終わり、大晦日は大してやることのない一日となりました。

当初、大晦日は近所の山にでも登って海に沈みゆく夕日を眺めようかと考えていましたが、結局は近所の公園で子ども達

と日が次々までボール遊びをして過しました。二人の子どもとサッカーをしたりバレーをしたり、こんな日もそう長くはないのだらうなと思いつつ、今までにないホッとした充実感を味わった夕暮れでした。

そして、年が明け、息子から「おとーさん、どうして雑煮ってあると？」と訊かれて、答えにつまづいていると、なんと或る朝礼冊子の1月2日欄にその答えが載っているではありませんか！

「古来、日本では日没が一日の始まりと考えられていたため、大晦日の日没が一年の始まりとされてきました。日が暮れるから神様と先祖が門松を頼りに来てきて、お供えをしたお節料理とお酒でおもてなしをしました。そして共にご馳走

を食べました。(神人共食というそうです。以下中略) 日の出後に、神様に捧げたお下がりも、ごった煮にして食べたのがお雑煮です。」

大晦日の日没が一年の始まりだったのか…。知らなかった。

(余談ですが、ユダヤ教でも夕日が一日の始まりと考えるそうです。)

であれば、今まで大半を粗末に過してきたことを反省しました。そして或る経営者が

生活改善のアドバイスで言われたことを思い出したので、お前の人生にはピリオドが無い」と。これは私が直接言われた言葉ではないけれど、当時、まさに自分のことを言われたような気がして、ハッとしました。

あれもこれも何でもしたがるわりに、キチッと終わらせられない、散らかし放題の人生だな、と。

それは年末片付けたはずの部屋を見ただけでも、あがる気がします。自分にしかわからない不要なモノに囲まれているような…。

過去に片をつけるから片付けと言ふのなら、そろそろ決着をつけなければなりません。

という訳で、今年は一昨日一日にしっかりとピリオドを打つことを最重要目標としました。

遅ればせながら、みなさま、本年もよろしくお願ひいたします。



たかの財形事務所

〒819-0374 福岡市西区千里 707-13

☎090-3407-2123

<https://www.takanozaikai.com> x-11 fp.takano@gmail.com